

令和6年度 学校関係者評価

2月17日（月）に第3回学校関係者評価委員会が行われました。本校の令和6年度学校評価について、学校関係者評価委員の方々から以下のようなご意見をいただきました。その中で、本校の令和6年度学校評価について妥当であるとの判断をいただきました。

- (1) 教職員の自己評価は、それぞれの項目について全体的に高い評価である。また、保護者・児童アンケートにおいても同様である。全体の評価にも現れているように、教職員一人一人が児童のために一生懸命、今年度の教育活動を行うことができていると感じている。
- (2) 教職員の自己評価において、「進んで英語を話す上小っ子の育成を目指し、英語活動、外国語活動、英語科の充実に努めた。」項目が、昨年度よりやや上がっている。担任とALTのT・T（ティーム・ティーチング）が活かされ、児童も生き活きと楽しそうに活動している。学校としての外国語についての取組もあり、充実していたのではないかと感じる。
- (3) 教職員の自己評価において、「学校応援団や地域との連携を強化し、授業や学校行事等で、積極的に活用した。」項目が、昨年度よりやや上がっている。今後も連携を強化し、更なる推進に努めていく必要があると感じる。
- (4) 教職員の自己評価において、「あげお学びのイノベーションを推進し、児童が効果的に学習できるように努めた。」項目が、昨年度より数値がやや下がっている。学習時に学習者用端末の活用はよくされている状況であるので、活用について個人差をなくしていったり教職員間で「あげお学びのイノベーション」についてもっと共通理解をしていったりしてもよいのではないかと感じる。
- (5) 教職員の自己評価において、「幼保小中教職員との情報交換や授業交流等を積極的に行った。」項目が、昨年度より数値がやや下がっている。実際に交流は昨年度よりも多く実施していたので、数値がもう少し高くてもよいのではないかと感じる。

いただいたご意見を参考にしながら、令和7年度の教育活動を進めていきたいと考えております。ありがとうございました。